



共済と保険

四〇年三月号目次

◇話題と人・杉山政夫氏・矢野静男氏

◇口絵写真・京都の春

◇グラフ・損保の第3・四半期末成績

巻頭言・火災共済と地震保険

点又交

安田の八五周年	島田信三
人に好かれる……ということ	小川清記
経済成長と教育	頓所忠治

座談会

生活設計による普及の進め方

者

中村 元量 (栃木県共済連参事)

鈴木 重二

席 福田 良平 (〃 企画管理室長)

(栃木県薬師寺農協 青壮年部長)

佐々木正雄 (〃 事務部長)

坂井幸二郎

出 藤田 善夫 (〃 企画管理室次長)

高橋新太郎

代理店実務講座

対談・山県勝見氏 (興亜火災社長) にきく (2)

保険契約法における生命保険の定義と監督法

における保険事業との関係 (下)

(四二)

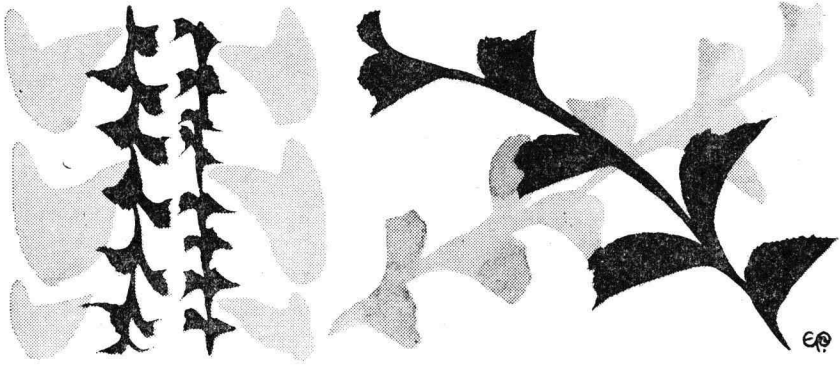
(三六)

(三〇)

(二〇)

(二二)

(一〇)



69

(質疑 応答) 火災共済の総合化について……………(四九)

ヨ(一)ロ(ツ)バ(だ)ヨ(り)

危険対策と保険共済事業 (2)……………印南博吉(五〇)

漁船保険の需要予測 (4)……………浅野長光(五三)

△ダイジエスト▽

三十九年度の農業白書……………編集部(五九)

対談・浅野長光氏 (日本トロール捕鯨漁 (船保険組合専務理事) にきく)……………(六五)

展	望
共済・理事会で四〇年度事業大綱等承認・四〇年度優績組合表彰奨励要項を決定・三十九年度優績組合表彰式日程決まる・養老、こども共済の標準体選択基準を変更・青森県六戸農協保有一〇億突破・「損害評価会規約例」きまる・漁済連統一評価基準を各組合に通達・千葉県下一五漁協がてんぐさ共済に加入・火災シーズンで火災共済活発	損保・保険相談室四月から新体制でスタート・自動車約款改正の審議順調に進む・傷害保険金を大中引上げへ・新代理店の前期講習修了者全国で四、五〇〇名・総資金十二月末で四、〇九七億に・鹿児島の大
生保・大蔵省が総代候補の選任で理事会と意見交換・まだ低い生保の普及度・十二月末で保有契約高一八兆五千億越す・北炭爆発事故で一千八百万円の該当契約出る・生保会社の傷害疾病保険は可能	火十一社に六千四百万

図書室・中期経済計画の解説……………(七六)

保険統計 (生保資産、損保資産、簡保年金資金、生保契約成績、損保元受成績、簡保契約成績)……………(七八)

編集後記……………(八〇)